

+さりげなく、SDGs～
 旅によるSDGsへの喚起
 等身大のSDGsへ、そして各自の行動へ



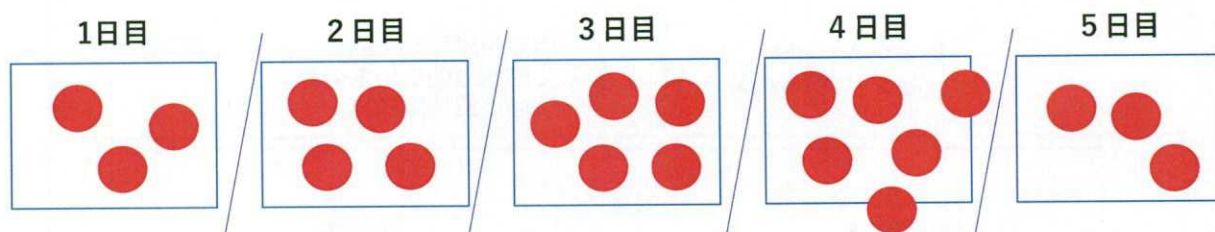
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



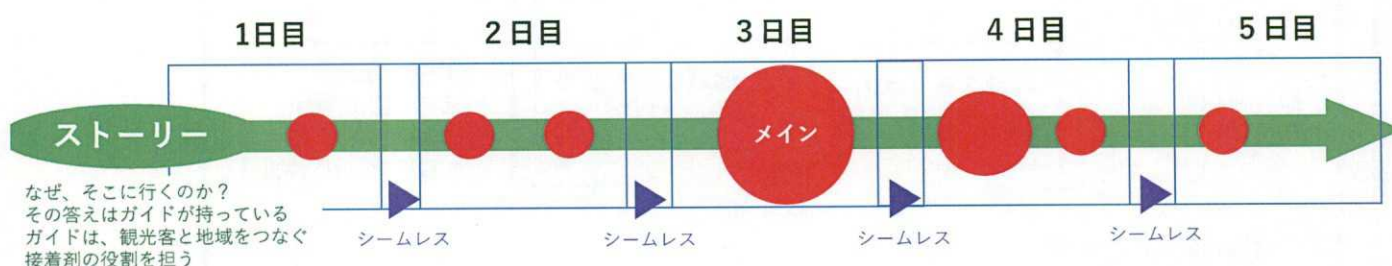
1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさをまもろう	15 陸の豊かさもまもろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	



【従来】



【アドベンチャートラベル】



23

【従来】

- 1日にたくさん（5～6箇所）の観光地を巡る。
- 有名な観光地を巡る。＝たくさんの人がいるところを巡る。
- 行き先は、ほぼ観光施設になる。＝ほぼ地元の人には行かない。
- **団体＝定型**
- 繁忙期＝混み合う

【アドベンチャートラベル】

- 1日かけて、ゆっくり（1～2箇所程度）とその地域（※観光地含む）を巡る。
- 国立公園や国定公園など、稀有で多様性に富んだ自然を巡る。
人はほぼいない。静寂の価値を楽しむ。相対評価（違い）を楽しむ。
- 自然に加え、農山漁村、商店街など、そこに暮らす人たちとの交流がある。
- 地元の日常が、参加者にとっては非日常。
参加者とガイドとの双方向の掛け合いにより、参加者の満足度が上がる。
- **個人＝臨機応変**
- 繁忙期＆閑散期の両方
- **語学対応が必要（≒ビジネスになる！）**

24

【従来】

- 入込人数でカウント
- 滞在時間が短い
- 消費金額が小さい
- 消費する場所が、限定的になる。選択肢が乏しい。主に観光事業者になる。

【アドベンチャートラベル】

- 述べ宿泊人数でカウント
- 滞在時間が長い
- 消費金額が大きい
- 消費する場所が、複数ある。選択肢が豊富。地元店舗、飲食店を活用できる。

✓ ATは、地域総力戦。

- ✓ 多様な地域関係者が繋がることによって、魅力的な高い価値が生まれる。
- ✓ その価値を体感するには、滞在時間（日数）を要する。
- ✓ これにより、稼げる機会が増える。＝地域での経済循環が促進される。

25

ATを求めるお客様

- ・「ATしたいんですけど・・・」とは言わない。
- ・FIT（Free Independent Traveler/海外個人旅行者）。2～15名位。
- ・日本（または北海道）が好きなりピーターが多い。
- ・知的欲求が高く、比較的富裕層。「WHY」でENJOY。
- ・ユニークな（そこの地域ならではの）コンテンツを好む。交流も。
- ・「アドベンチャー」は、心の成長（気づき）と捉える傾向。
- ・アクティビティ難易度は、比較的低くても良い。

26

ATを求めるお客様への対応ポイント

- ① 明瞭に・・・ツアーの伝えたいメッセージは何なのか？
- ② 理路整然と・・・それが伝わりやすい流れになっているか？
- ③ 簡潔に・・・余計な情報やわかりにくいものは削除されているか？
- ④ 優しく・・・日本人じゃない相手にもわかりやすい、
伝わりやすい内容になっているか？
- ⑤ 楽しく・・・楽しませる演出になっているか？
(お客様はもちろん受入先の関係者の皆さんも)
- ⑥ 締めくくり・・・後味よく、メリハリよく次(行程)につながっているか？

27

ATは、地域総力戦です。

ATは、観光事業者だけでは成立しません。

お客様の求めるものは、観光の枠を超えています。

お客様が求めているものは、私たちのまちの日常＝本物です。

**「第7回ジャパンツーリズムアワード」の国土交通大臣賞は、
沿線まるごと社の「過疎高齢地域での「沿線まるごとホテル」プロジェクト」
（「学生が選ぶジャパンツーリズムアワード」も同時受賞）**

28



【国土交通大臣賞】

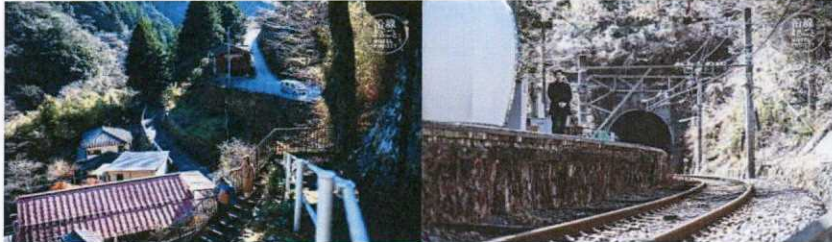
団体名：沿線まるごと株式会社（国内・訪日領域）

取組名：過疎高齢地域での「沿線まるごとホテル」プロジェクト

※学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード同時受賞

<選考ポイント>

駅と周辺の地域コンテンツを面にして地域全体を1つのホテルと見立てた世界観が素晴らしく、空き家はホテルの客室に、無人駅はホテルのフロントになど地域課題を顧客価値へと転換し魅力に繋げている点を高く評価した。他の過疎地域の鉄道路線維持の一つの方策としても期待したい。



<受賞者の言葉>

名誉あるジャパン・ツーリズム・アワードにてこのような賞をいただき、大変光栄であると共に驚きと責任の重さも感じております。私たちは東京の奥多摩秘境エリアかつ無人駅の中に事務所を構え、コロナ禍に誕生したとても小さな会社です。

『沿線まるごとホテル』はJR青梅線東京アドベンチャーラインを一つのホテルに見立て、“無人駅をホテルのフロントに”“空き家をホテルの客室に”“住民がホテルのキャストに”と地域全体で地域の課題を価値へ変換・提供していくプロジェクトです。アフターコロナで旅の形が変わっていく中で、地域の皆さまと共に新たなツーリズム創出に邁進してまいります。

29

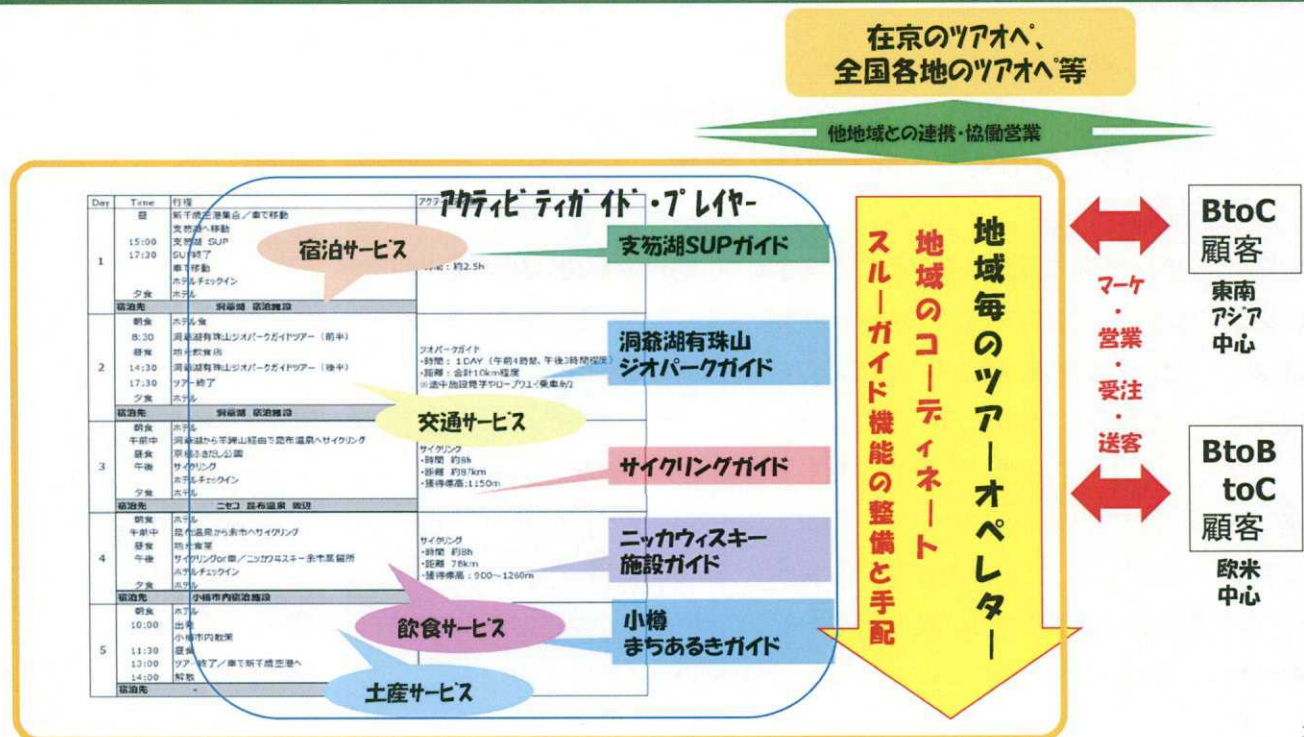
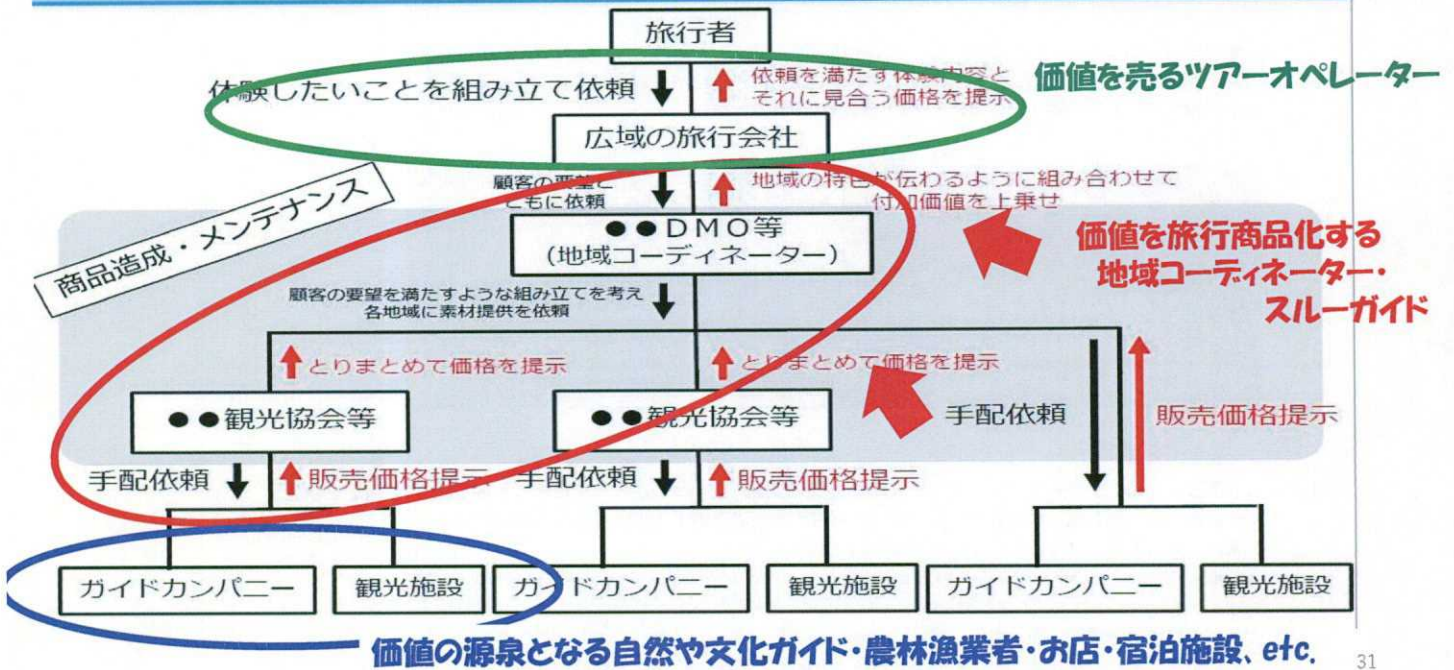
5, ATに取り組むポイント



- a. アクティビティ 何をやるのか。
- b. メッセージ 自分はこのツアーで、何を参加者に伝えたいのか。
- c. ツアー名 このツアーは何か。
- d. ハイライト このツアーの売りは何か。
- e. **地域貢献** **地域経済へ貢献するための工夫は何か。地元製品の活用や雇用創出など。**
- f. **地域交流** **地域住民との交流。双方向性のある体験・アクティビティは何か。**
- g. **地域特性** **ここでしか体験できないユニークなコンテンツは何か。**
- h. 環境負荷 環境への負荷を最小化するための取り組みは何か。
- i. 挑戦 ツアーで参加者がチャレンジできる要素の有無。チャレンジング要素は何か。
- j. 販売者 誰がどのようにツアーを販売するのか。誰が責任者か。
- k. 免責事項 誰がどのように免責事項を説明するのか。
- l. 英語対応 英語対応の有無。英語対応の経験。事故や災害発生時の対応方法や指示ができるか。
- m. 悪天候対応 悪天候時の代替案の有無及びその内容な何か。

30

目指すAT商品販売フローイメージ



1.【標津町】根室海峡鮭茶漬けづくり&標津番屋屏風絵街歩きツアー

主催：Nemuro Strait Local Guide Amutoki(あむとき)

根室海峡鮭茶漬けづくり&標津番屋屏風絵街歩きツアー

実施時期：通常 | 時間：13:00～14:00 or 12:00～13:00 | 定員人数：2人～8名 | 料金：大人13,200円 子ども9,900円



参考情報：

人数 2名～8名
 価格 大人13,200円 子ども9,900円
 HP <https://onl.tw/79LeMiY>
 関連動画 <https://youtu.be/hqOF0LtUM7w?t=295>

※動画の内容は記載プログラムと完全に一致するわけではありません。

概要：

日本遺産「鮭の聖地」の旨味を一皿にギュッと閉じ込めました。標津産鮭の山漬をメインに、羅臼昆布、ホタテ、鮭節、椎茸の出汁で食べる「ジャパニーズ・ファーストフード」お茶漬。それぞれの出汁と旨味について学びながら、美味しいお茶漬を召し上がれ。街歩きではお茶漬の中身に通じるストーリーをお話しながら歩きます。美味しさはもちろん、この地で召し上がる意味が更に深まること間違いなしのツアーです。

お茶漬の中身にまつわるエピソードを町内を散策しながら発見！根室海峡でしか味わえない全てが極上のお茶漬を召し上がれ♪

ユネスコ無形文化遺産に登録されている日本食。その要となったのが「出汁」と「うまみ」でした。
 根室海峡は出汁と旨味の宝庫！根室海峡の恵みから生まれた「出汁」を試飲し、ブレンドして自分だけのお茶漬を作ってみてください。
 ランチのお茶漬前後に街歩きをしながらお茶漬の中身を旅します。
 ガイドがおすすめするスポットに立ち寄りながらお散歩。時には魚屋さん、時には漁師さんの作業場、地元で愛されるお菓子屋さんなどその時期のベスト、ゲストの皆様とお話したい場所にご案内します。

出典：Nemuro Strait Local Guide Amutoki HP <https://onl.tw/79LeMiY>

33

2.【鹿部町】漁業のまち道南・鹿部町で「浜のかあさん」と一緒に地元料理体験♪

主催：鹿部温泉観光協会



参考情報：

人数 3名～40名
 価格 一人あたり4,000円
 HP <https://h-takarajima.com/programs/3575/>
 関連動画 <https://youtu.be/bUXvAhdHkni?t=261>

※動画の内容は記載プログラムと完全に一致するわけではありません。

概要：

鹿部で水揚げされる新鮮な海の幸を使って、お店ではなかなか出されることのない、鹿部ならではの家庭料理作りを体験できます。
 教えてくれるのは鹿部漁業協同組合女性部のお母さん(浜のかあさん)たち。
 魚のさばき方が分からなくても大丈夫♪浜のかあさんたちが一から丁寧に、そして面白く料理を教えてください。
 作った料理はその場で浜のかあさんたちと一緒に、お話をしながらお召し上がりいただけます。
 鹿部の浜のかあさんたちとの交流をぜひ、お楽しみください！！

【体験できる料理の例】

◆春(4～6月)
 ・カレイの煮つけ・ホタテ稚貝の味噌汁・早摘み昆布の昆布巻

◆秋(9～11月)
 ・ホッケの塩焼き・カジカの味噌汁・鮭のちゃんちゃん焼き

◆夏(7～8月)
 ・タコまんま(タコの炊き込みご飯)・とろろ昆布の味噌汁・タコの天ぷら

◆冬(12月～3月)
 ・スズノ三平汁・ごっこ汁・ホタテのバター焼き

※漁の状況等により、上記のメニューでも体験できない場合があります。また、「浜のかあさん」たちは豊富なレパートリーを持っているので、この他にもその時に獲れる魚介類に合わせて、いろいろなメニューを作ることができます。ご希望のメニュー等がございましたらご相談ください。

出典：北海道体験HP <https://h-takarajima.com/programs/3575/>

34

3.【八雲町】もち米農家さんと餅つき体験



主催：株式会社北海道宝島旅行社

参考情報：

人数 2名～6名程度
 価格 1～3名の場合 一人あたり：4,800円
 4名以上の場合 一人あたり：3,700円
 HP <https://onl.tw/W2WH6BW>
 関連動画 <https://youtu.be/YjtXuG56hiA>

※動画の内容は記載プログラムと完全に一致するわけではありません。

概要：

落部で生産されたもち米を専用蒸し器でふかし、アツアツのもち米を杵でこね、威勢よくついていきます。「あいどり(もちをひっくり返す人)のかけ声と合わせて、もちをつきます。

餅つきが終わったら、餅を食べながら農家さんの家で交流。時間があれば、田んぼや畑を見学することもできます。

出来立ての餅を口にするのは、日本人でもあまり機会はありません。つきたての餅を農家さんのうちでいただいているうちに、何か親戚になった気持ちになります。是非、本物のおもちを食べてみてください。

出典：北海道宝島旅行社 HP <https://onl.tw/W2WH6BW>

4.【神恵内村】村での伝統の遊び「宝引き」体験



主催：株式会社北海道宝島旅行社

参考情報：

人数 4名～10名程度
 価格 一人あたり4,700円
 HP <https://onl.tw/MVNL8Yg>
 関連動画 https://youtu.be/oAfE_DxQeP8?t=317

※動画の内容は記載プログラムと完全に一致するわけではありません。

概要：

漁師の奥さんたちの暇つぶしから誕生した、村での伝統的な遊び「宝引き(ほうびき)」を体験。

親と呼ばれる役割の人が持つ紐の束の中に、赤と青の玉で当たりをつけ、それを皆で引っ張って、あたりを引き当てるシンプルなゲーム。

神恵内村では、今でも村内の町内会の新年会や人が集まる場で余興として楽しまれ、地域住民の間で親しまれている昔からの遊びです。

元々は、ニシン漁が盛んだったころ、男性が漁に出た後に、漁師の奥さん達が、陸で待つ間の暇つぶしに始めた遊びだといわれています。

相手をしてくれるのは、神恵内村のお父さん、お母さんたち。ゲームも楽しいけど、もっと楽しいのは地元のお父さん達とのふれあい。村での暮らしに混ぜてもらったような、ありのまま特別な時間をお過ごしください。

出典：北海道宝島旅行社HP <https://onl.tw/MVNL8Yg>

5.【豊浦町】 あなたの知らないホタテの世界(ガイド付き漁港散策ツアー、昼食付)

主催：一般社団法人噴火湾とよら観光協会



参考情報:

人数	2名～10名程度
価格	一人当たり7,500円～(人数によって変動)
HP	https://onl.tw/vLQkCkU
関連動画	https://youtu.be/YYFuk6sH-6w

※動画の内容は記載プログラムと完全に一致するわけではありません。

概要:

噴火湾(内浦湾)でホタテ養殖を最初に始めたのが豊浦町です。ホタテは12月～3月が旬ですが、冬以外の季節も漁師さんは大忙し。みなさんが食べるホタテは2年間、漁師さんがてまひまかけて育てたものです。どのようにホタテが養殖されているのか、地元に住むガイドが紹介します。「ホタテ釣り体験」や「ホタテの殻むき体験」などのオプションも充実(有料)。ホタテを知って、学んで、食べ尽くす！ホタテづくしのツアーです！

【ツアー内容・スケジュール】※ツアーのスタート時間は変更できません。

10:00 豊浦漁港でガイドと合流
10:15 セリ前の魚を見学
10:30 セリを見学
10:45 豊浦漁港へ移動、「あなたの知らないホタテの世界」
11:15 ホタテ釣り体験(有料オプション)
11:45 昼食会場へ移動
12:00 ホタテ殻むき体験(有料オプション)
12:20 昼食
13:30 ツアー終了

出典：一般社団法人噴火湾とよら観光協会HP <https://onl.tw/vLQkCkU>

37

まとめ

- アドベンチャートラベルとは何だろう
 - ・観光成熟期を見据えた「(海外)個人旅行者」の獲得手法のひとつ。
 - ・観光を道具に地域産業を新結合させ活性化を図る手法のひとつ。
 - ・まずはインバウンドで体制整備 → 国内マーケット成熟化へのスタンバイ。
- アドベンチャートラベルと従来の観光の違い
 - ・地域の自然や日常に触れる旅を演出する、詰め込まない行程づくりが大切。
- アドベンチャートラベルという商品の作り方
 - ・ATは、地域総力戦。地域で残したいモノの活用！
 - ・ガイドの役割がとても重要！
- アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023が無事終了！
 - ・<ATWS in 北海道>が終わって、これからが、本当のスタート！！

38